

ESD 国際シンポジウム
「ESD と教員養成教育」
“ 未来を創る子どもたちのために ”

「持続可能な開発のための教育（持続発展教育、ESD）」は、環境問題を含め喫緊の課題です。この ESD を国際協力の中でグローバルな視点を養いながら実施することは、協力相手国のみならず、国内の教育現場にも多くの効果をもたらすと思われま。しかし、「持続可能な開発のための教育の 10 年」(DESD)はすでに前半期を終えようとしておりますが、諸外国のみならず国内の教育現場においても、ESD という言葉の認知度は高いとはいえ、教育実践も十分に行なわれていない状況です。この度のシンポジウムは、平成 20 年度「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業の一環として実施し、ESD の視点を持った教員養成や学校支援など、これまでの日本の成果を再確認するとともに、発展途上国の現状を学び、JICA やユネスコ、国連大学などのネットワークの活用も含めて、グローバルな ESD の推進に向けてどのような国際協力が可能かの検討を行いたいと思います。

期日 平成 21 年 2 月 22 日（日）

会場 仙台国際センター 萩の間(2F) 一般公開、入場無料

時間 午前 10 時から午後 5 時

プログラム

10:00～10:30 **開会** 司会 国際理解教育研究センター長 藤田 博
宮城教育大学学長 高橋孝助（5分）
文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室国際協力調査官 岩井淳武氏（5分）
JICA 東北支部長 甲斐直樹氏（5分）
日本ユネスコ協会連盟事業部長 寺尾明人氏（5分）
ACCU 教育協力課課長 柴尾智子氏（5分）

10:30～12:00 **基調講演** 司会 国際理解教育研究センター長 藤田 博
「教員養成と国際協力の在り方」（60分）
ユネスコ国内委員会会長 田村哲夫氏

13:00～14:30 **セッション1**
“ 学校における ESD 実践の現状と課題 ”
司会 武蔵工業大学 講師 佐藤真久氏

外国からのレポート（逐次通訳付き）

「ベリーズ」(15分)

Sacred Heart College Junior College Division, Belize,
Ms. Dorette Perez

「ネパール」(15分)

Prof.Chair. Tribhuvan University Faculty of Educatuon
Prof. Basu Dev Kafle

「マダガスカル支援の教育実践活動」(15分) (逐次通訳付き)

マダガスカル国立チンバザザ動植物公園環境保全教育部長
Ms. RVAELOARINORO Marie Gisele
環境教育実践研究センター准教授 齊藤千映美

「日本の大学によるESDへの取り組み」(20分)

名古屋大学大学院准教授 北村友人氏

「国際協カイニシアティブと国際理解教育」(15分)

宮城教育大学 環境教育実践研究センター長 村松 隆

(討論)

14:45 ~ 16:30 セッション2

“グローバルゼーションの中の教員養成と学校支援”

司会 宮城教育大学教授 小金澤孝昭

挨拶 国連大学高等研究所 名執芳博氏

「外部機関との連携と学校内のシステムづくり」(30分)

東雲小学校校長 手島利夫氏

「教員養成大学におけるESDの推進」(15分)

北海道教育大学釧路校ESDセンター長 生方秀紀氏

「大学による学校支援：ユネスコ・スクール支援大学間ネットワーク」(各15分)

岩手大学教員養成機構教授 田中吉兵衛氏

東北大学大学院環境科学研究科准教授 浅沼 宏氏

岡山大学大学院環境学研究科准教授 毛利紫乃氏

(討論)

17:00 ~ 19:00 交流会 (仙台国際センター内レストラン・ラフォーレ)

宮城県内のASPnet 新規加盟校の披露